

犠牲者

1970年代に中国では死刑囚から臓器が摘出されていたが、その後、良心の囚人、少数民族から小規模に臓器が摘出されるようになった。

2000年以来、主に法輪功学習者が臓器収奪の対象となった。法輪功とは真善忍の理念に基づき自己を高める修煉法で、1990年代末、中国政府は国民の7000万人以上が法輪功を修めていると推定した。

江沢民・元共産党首脳は法輪功の大衆性を自己の統治に対する脅威とみなし、「(学習者の)評判を落とし、破産させ、身体を破壊する」運動を始めた。以後、法輪功学習者は逮捕され、自己の信念を破棄しないという理由から、刑務所や強制労働所、機密拘束施設で拷問されている。

世界の反応

2016年6月、米下院で343号決議案が満場一致で通過。「系統的で国家が認める、同意のない良心の囚人からの臓器収奪」を譴責した。

2013年12月、欧州議会は緊急決議を採択。「生きている良心の囚人、宗教および少数民族のグループから臓器収奪することを即座に止める」ように中国政権に要求している。

イスラエル、スペイン、イタリア、台湾が中国への渡航移植を取り締まる法規を通過させた。

人権団体「フリーダム・ハウス」が2017年、「法輪功の拘束者が大規模に臓器のために殺害されていることが…信頼のおける証拠から示唆されている」とする独自の見直しによる報告書を発表。

2015年5月以来、20万人以上の中国の国民が、法輪功迫害を指揮した江沢民・元中国共産党党首への訴状を提出。

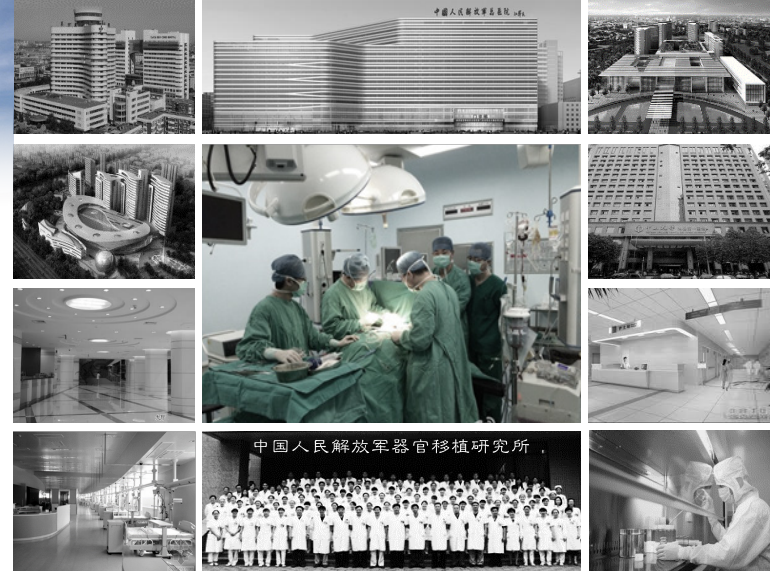
私たちができること

- この問題についての情報を採り入れ、他の人に伝える
- ドキュメンタリー映画「メディカル・ジェノサイド」を観て、広める。
- 市議会議員、県議会議員、国会議員に連絡し、個人・機関が共犯にならないように法規の草案・通過を支援する
- 署名を通してこの犯罪に反対する数百万人の1人となる

中国臓器狩りリサーチセンターは、中国での合意のない臓器収奪を客観的に調査し、発表しています。私たちの調査結果は、CNN、ニューヨーク・タイムズ、PBS、グローブ&メールなどに引用されてきました。



ChinaOrganHarvest.org/ja/



中国で無実の人々が
臓器のために
殺害されています

- 実際の移植件数は公式発表の年間1万件を大きく上回る
- 移植手術を行う病院は1千軒
- 国家が指揮し、軍と民間が関与
- 機能している臓器提供制度なし
- ほとんどの臓器は、提供を望まぬ良心の囚人、主に法輪功修煉者から摘出

CNN、ニューヨーク・タイムズ、PBS、ロンドン・タイムズで報道

大量虐殺の構図

2006 年、独立した調査者が、中国で無実の人々が移植臓器のために系統的に殺害されているという結論を出した。世界がよそ見をしている間に、中国の移植産業は、自主的なドナーの備蓄がほとんどない中で、今なお成長している。

待ち時間の短さ

オンデマンドで無実の人々が殺害されている証拠が次々に出てきている。

中国の肝移植登録システムによると、2005 年と 2006 年に行われた肝移植の 25% 以上が、臓器を数日ないしは数時間で調達する緊急手術であった。待機手術の待ち時間は通常、数週間と見積もられており、他国の数年とは対照的である。

豊富な臓器の供給源

「ドナーがレシピエントを求めています」と宣伝し「付着しない場合、成功するまで移植を続けます」と約束している移植専門病院があった。

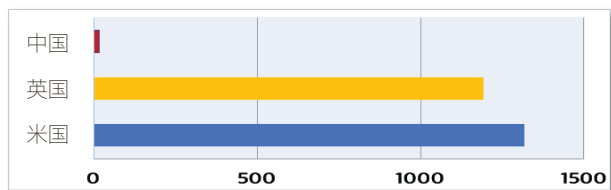
1 人の患者に付着する臓器がみつかるまで、数個（8 対の腎臓の例がある）の臓器が切除された事例が記録されている。2 度目、3 度目、4 度目の移植を受ける者もいる。1 日に 10 件、20 件、それ以上の移植を記録する病院もあり、併合して手術が行われる場合もある。

限られた自発的ドナー

死後、身体全体が葬られることが東洋文化の伝統だ。中国では自発的な臓器提供数は今なお極めて低い。脳死に関する法の欠如、医療制度への信頼の欠如もドナー登録への妨げとなっている。

中国で臓器提供制度が最初に導入されたのは 2010 年で、全国的な制度の確立は 2013 年末である。しかし、2 年経過しても意味をなすほどの規模には達していない。

腎移植の待ち時間（日数）



資料源：米国腎臓データシステム；ガーディアン紙

移植件数を示す情報

2000 年以来、中国での移植件数は激増。2005 年の件数は 1999 年の 30 倍となっている。米国での年間平均の移植件数 6 千件は、中国ではわずか 2 ～ 3 軒の病院での移植件数にあたる。天津第一病院東方移植センターには 500 以上の移植用病床があり、2007 年には 1000 軒以上の移植センターが中国に存在している。

中山大学附属第一医院は、数万人の患者が肝移植または腎移植を受けたと報告している。

『中国経済週刊』は北京大学人民医院が「1 年で 4000 件の肝腎移植を行った」と報道している。

死刑囚の減少

人権擁護団体は、死刑囚の数が 2000 年に極度に削減されたと推定している。移植件数の累増とは対照的である。

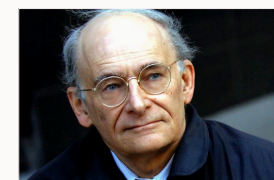
ほとんどの臓器源は明確でなく、中国政府は「良心の囚人（無実の人々）」を臓器源とする事実を認めない。実際の処刑者数は国家機密として扱われている。

2016年報告書：

『Bloody Harvest / The Slaughter 最新報告書』
jp.EndOrganPillaging.org

中国の数百軒に及ぶ病院の移植プログラムを詳査した結果、移植認定病院としての最低要件を満たす数だけでも、年間 6 万～10 万件の移植が行われており、制度全体に及ぶ手術容量から 2000 年以来 100 万件以上の移植が行われたと推定。

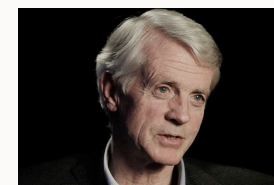
680 ページに及ぶ報告書は、メディア報道、公式発表、学術誌、病院のホームページ、保存されたウェブサイトから集められた 2300 に上る脚注で裏付けされている。



デービッド・マタス
(David Matas)

国際人権弁護士、『中国臓器狩り』共著、2010 年ノーベル平和賞候補

「この更新版の報告でも我々の前の著書でも、究極的な結論は同じです。中国は移植のための臓器を入手するため、良心の囚人を大量に殺害してきました。精神修養を基本とする法輪功学習者が主な犠牲者ですが、ウイグル人、チベット人、一部の家庭教会も含まれています。」



デービッド・キルガー
(David Kilgour)

元アジア太平洋担当国務大臣、『中国臓器狩り』共著、2010 年ノーベル平和賞候補

「産業規模の国家が指揮する臓器移植制度に関する十分な証拠を揃えました。国家の政策と資金により管理され、軍と民間の両方の医療制度に関わります。」



イーサン・ガットマン
(Ethan Gutmann)

調査ジャーナリスト、『The Slaughter（殺処分）』著者、2017 年ノーベル平和賞候補

「新しい形態のジェノサイドです…社会で最も尊敬されている医師に実行させています。」